

## 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

## (1) 協議会名称

令和3年度 都立青梅総合高等学校 全日制学校運営連絡協議会

## (2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、総務部員1名 計3名

## (3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、総務主任、生活指導主任、保健部主任、進路指導主任、総合学科推進部主任、農場部主任、1年次主任、2年次主任、3年次主任の計13名

## (4) 協議委員の構成

学識経験者（青梅市教育委員会）、PTA会長、地域住民、近隣中学校長、地域団体代表 計7名

## 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から第1・3回は書面開催、第2回は通常開催）

## (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、内容、その他

第1回 令和2年6月12日（金）書面開催

協議委員委嘱、委員紹介、学校経営計画、

本校の教育活動と各分掌からの本年度の計画と生徒の活動の報告、意見交換は文書等で返答依頼。

## 【主な意見】

- ①青総 NEWSLETTER を拝見し、コロナ禍にあっても感染症対策に万全を期しつつ様々に工夫をされて教育活動をされていることがよくわかりました。まだ治まる気配が見えませんが、なお一層生徒さんの安全・安心に配慮されて活動されることを望みます。教職員の皆様もご自身の健康に充分ご注意ください。10月の第2回学校運営連絡協議会には学校に訪問できるよう願っています。
- ②校長先生以下、職員の皆様が学校と地域の交流にご協力をいただき、感謝申し上げます。7月の避難訓練が無事に終了するように願っています。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生徒の「学びの保障」のための学習指導について、明確にする必要がある。

第2回 令和3年10月28日（木）

各分掌から今年度の重点目標の取組状況について中間報告

学校評価の内容確認、意見交換

## 【主な意見】

- ①HPを拝見し、見やすく工夫されている。可能であればSED対策として、どこから、どんなキーワードで検索されているか等分析されるとよい。
- ②今後も学業と共に奉仕活動へも若い力を発揮していただきたいと思います。
- ③学校行事及び生徒会活動に地域との交流、参加を加えてほしい。

④部活動で顧問と部員、部員同志の意思疎通を図ってほしい。

### 第3回 令和3年3月5日（金）書面開催

各分掌から生徒の活動の報告、学校評価の報告

#### 【主な意見】

- ・終わりの見えないコロナ禍の中で、学びを止めない教育活動は、本当に大変だと思います。学校行事の開催もままならない中で、学校運営連絡協議会も出席できないままの一年間でした。いろいろとご苦勞は多いと思いますが、『夜が明けること』を信じて頑張ってください。
- ・本校は、普通科高校と違い、意識の高い生徒が多く集まる学校だと思いますので、より個性ある、魅力のあるカリキュラムを設定してください。
- ・アンケート結果は、肯定的評価（そう思う、やや思う）が多く素晴らしいと思います。3 自主学習については、中学校からの積み重ねが大切ですが、中学校でも大きな課題のひとつです。
- ・学校評価アンケートは、よくまとめられていると思います。これを受けて、学校としてどのように評価したのかを A4 1 枚程度にしてつけ加えていただくとありがたい。（分析、考察）書面開催なので、なおさら必要であると思います。
- ・自由意見の中で否定的な意見も散見されましたが、我々が見る事ができるのは良い事だと思います。悪筆ですみません。更なる御発展をお祈りします。
- ・オンライン授業が実施され、生徒全員が Teams を使いこなせることは、とても素晴らしいと思います。尚、資料の中にコロナ禍における生徒のフィラストレーションの軽減が必要と記載されていました。ぜひ、ご対応をご検討下さい。
- ・コロナ禍において、青梅総合高等学校 S クラブの 1 2 回目の認証式を行わせて頂き、ありがとうございました。生徒会、クラブ活動を拝見させて頂き、礼儀正しく、若さ溢れる行動力を頼もしく感じております。
- ・コロナ禍で感染対策や対応に多くの時間を掛けて青総生の学校生活を守って下さっていたと思われまます。学生や保護者からの自由意見に対して、可能なことは変えていってもいいものでは、と最初は感じましたが、よく考えると今までも変わってきていることなのでは、と思えることもあり、やはりコロナで対話が出来なくなっているのかなと感じます。学生も親も学校とよりよい青総を創り上げてほしいですね。

### (2) 評価委員会の開催日時内容

#### 第1回 令和3年10月

協議委員へ郵送

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

- ・学校評価アンケートの質問項目の検討を依頼し、文言の修正をすることとした。

#### 第2回 令和3年2月7日 書面開催

協議委員2名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

- ・本校の生活指導が保護者や地域から高く評価されているが、一方で、土曜授業や遠足、服装規定、生活指導などについて、少なくない数の意見が出ていることを確認した。

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

#### (1) 評価の観点

学校への理解、学校生活への意欲、学校の対応、学校の実践等

(2) アンケートの実施時期、対象、規模

実施時期：11月

対象：生徒、保護者、教職員、地域住民

(3) 主な評価項目

生徒用の評価項目を例示する。保護者、教職員も生徒の質問事項に対応している。

- ①私は、青梅総合高校の教育目標を理解している
- ②私は、積極的に授業を受けている
- ③私は、授業外でもしっかりと勉強をしている
- ④私は、部活動に積極的に取り組んでいる
- ⑤私は、学業と部活動の両立ができています
- ⑥私は、校則やマナーを守っている
- ⑦私は、学校行事や委員会活動に積極的に取り組んでいる
- ⑧学習内容の理解を深めるために、「考えさせる授業」が行われている。
- ⑨授業は、自身の興味や関心を高め、学習意欲を満足させてくれる
- ⑩青梅総合高校は、系列や科目選択、卒業後の進路について相談にのってくれる
- ⑪【1・2年次】「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の授業は進路選択や将来を考えるのに役立っている
- ⑫【3年次】総合学科の特色ある科目（卒業研究含む）や教育課程を学ぶことは、自分に合った最適の進路選択に役立った
- ⑬自己を高めるために必要な助言や連絡、情報は、学校から適切に伝えられている
- ⑭青梅総合高校では、安心して生活できる
- ⑮青梅総合高校は、体罰や生徒間の暴力を許さないという教育方針であることを、理解している
- ⑯青梅総合高校での生活に満足している

(4) 評価結果の概要

- ・令和2年度と同じ項目で令和3年度アンケート調査を行ったが結果として大きな差は認められなかった。
- ・全般的に全保護者による評価における肯定的意見が最も多く、全教職員、全生徒と肯定的評価は質問によって異なる結果が得られた。
- ・地域からも生徒の登下校の様子についておおむね良い評価をいただいた。しかし、地域活動の認知や本校からの情報発信については、コロナ禍も影響していて、認知されにくい数字であった。今後は紙ベースでの広報活動（青総 NEWSLETTER 発行）やHP・ツイッターの更新の頻度を上げ、地域の方の認知度が上がるように工夫と改善をする。

(5) 評価結果の分析・考察

【生徒・保護者】

- ・学校に対する意見について、担当分掌等で検討し、改善が図れるものは進めていく。予算等改善に学校判断で実施できないものは、西部学校経営支援センター支所等に相談・連携しながら進めていく。
- ・行事の中止等の制限については、都からの通知に基づき、可能な範囲で実施できるように進めていく。
- ・生徒・保護者が青梅総合に入学してよかったといえる教育活動を行っていく。

- ・コロナ禍のなかで、感染症への不安等がある生徒については、自宅でオンライン授業が行えるように環境の整備等を引き続き進めていく。
- ・「授業外でもしっかりと勉強している」と答えている生徒が64%、そうでないが36%と3分の1の生徒が、自主学習の取り組みができていないと答えている。生徒へ自学学習の必要性などについていねいに理解させるが必要である。また、「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の授業をとおして、進路選択や将来を考える機会を与えたい。
- ・7割の以上の生徒が、考えさせる授業が行われていると答えている。生徒の学習理解をさらに深める授業展開を行っていく。
- ・本校のマナー教育、生活指導は肯定的に評価されている。校則やマナーを守っている生徒の割合も高い。地域からも高い評価を得ている。また服装等については、自由意見として、価格や質の面から、変更を望む声は出ている。

#### 【地域】

- ・青梅総合高校と普段からかかわり、コミュニケーションを深めることで、福祉、防災、防犯、他、地域活動の向上や活性が今まで以上のものになるのではないかと期待しています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・東青梅駅～学校の間で、スマートホンを扱いながら歩いている生徒を多数見かけます。大変危険です。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施(書面開催)して得られた成果

- ・内部及び外部から多くの意見をいただき、その結果、本校の教育内容が伝わり、改めて、本校への期待と本校の教育活動が肯定的に捉えられていると理解できた。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・地域への情報発信について工夫する。本校に関心を深め、地域の学校と感じてもらえるようにPR活動する必要がある。
- ・協議委員全員が「学校がよくなったと」回答されるよう教育活動の見える化を図っていく。
- ・生徒の通行マナーについては、生活指導部・各年次で継続して指導していく。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・総合学科高校としてのキャリア教育の充実
- ・家庭学習の習慣づくり及び授業を受ける基本姿勢の育成。

#### 6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

##### (1) 協議委員人数 8人

##### (2) 「学校がよくなった」と答えた協議委員の人数 [下段に人数を記載]

そう思う	多少 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	無回答
5	3	0	0	0	0	0

#### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

##### (1) 参加実績

- ・職員会議 0回 延べ0人
- ・企画調整会議 0回 延べ0人

##### (2) 成果

参加実績なしのため、特になし